

『時間を流すな』

1. 「時間を流すな」

皆さん、二谷友里恵さんって、ご存じですか？少し、旧聞なのですが、もう20数年前に、歌手の郷ひろみさんと結婚された方です。結婚ビジネスというか、その時に出版された「愛される理由」という本を当時、勤めていた会社の女性社員から借りて読んだ事があります。内容は、松田聖子さんとの競争で勝ち取った郷ひろみさんをのろける事が殆どだったのですが、その中で、父の二谷英明(俳優:なつかしいですね)さんが友里恵さんに

「時間を流すな、時間を迎え撃て！」

と教えた事が紹介されていました。私には、この「時間を流すな、時間を迎え撃て！」のフレーズが唯一、心をゆさぶった言葉だったのです。

注)90年に出版されて、70万部のベストセラーとの事です。

「雑学」って、結構、重要だと思いますね。こんな本って、オレに何か関係あるのかな？と思っていたのですが、大いに心を揺さぶったのです。私は、3人の息子がいるのですが、二谷さんのような教育が出来ているか？疑問なのです。息子たちに聞かないと分らない事なのですが、彼らの心に磁石のように貼りつく言葉をかけていたか？と思うと少し寂しくなります。皆さんは、家族にどんなメッセージを贈っていますか？

2. 「時間を迎え撃て」

ところで、皆さん、「時間を迎え撃つ」ことが出来ていますか？「さあ、今日は何しようか？」という状態では、おぼつかないものですね。「先手必勝」って、言いますが、何事も先回りすると「段取8割」と言いますが、事前に段取りが出来ていますと、突然の状況変化にも対応できるのですが、ぶっつけ本番では「慌てるばかり！」という事で覚束ない限りになります。ホントに「先手必勝」が重要と思います。

しかし、「時間を迎え撃つ」と言いますとよく勘違いされるのは「スケジューリング」なのです。確かに、スケジュール管理が出来ていると効率よくなるのですが、その反面、よく「〇〇日までムリです」という回答が返って来るケースに出くわします。しかし、本当にムリなのでしょうか？「優先順位」という言葉があるのですが、アポの内容をよく考えているのか？と疑問に思うような返事を平気でする人がいます。

内容によっては「リスク」という事もあるのです。余り「頑な」なのは？マークですね。「スワ！緊急！！」という場合では、「〇〇日」では困るのです。何をさしおいても解決させねばならないのです。場合によっては「リスク」が出来ない時もあるのです。走りながら、アポのキャンセルを同時処理する必要があるのですが、往々にして、キャンセルを忘れるのです。こんな調子では、次から次へと火種を作ってしまいますね。

3. 「空き時間」の活用法

皆さん、どうしても「空き時間」が出来る場合がありますが、どんな風にされていますか？「寸暇」というのですが、この過ごし方も重要です。よく見受けるのが、コーヒーやタバコで雑談というケースです。雑談も重要なことなのですが、例えば、営業に出た時はどうでしょうか？お客様とのアポに遅れないように余裕を持って出発すると思いますが、道中がスムーズに展開して20分ほど早く着

く場合もあります。特に、新規先では、道路の込み具合などが分らないので、1時間近く早く到着するケースもあります。20分でも早すぎるので、時間調整が必要なのですが、さすがに、1時間となるとクルマの中で過ごすには辛いものがあります。ついつい、喫茶店などに入るのですが、この1時間、スポーツ新聞を読むだけでは、「もったいない」ですね。

私は、このような時、出来るだけ連絡に活用するようにしています。今は、携帯電話があるので、本当に便利です。特に、長くお会いしていないようなお客様に電話すると意外な話に展開して商談になったりするラッキーな場合もありました。また、会社にいる時は、このようなメルマガの原稿を書いたりしています。実は、この原稿の元は、07年11月に書いたもので、少し、修正を加えて時期感が合うようにしています。また、営業マンならば、社内にいる時には、お客様とのアポとりをするのがベターと思います。「様子伺い」の電話から思わぬ商談が舞い込むこともあります。ぜひ「様子伺い」をするようにしてほしいと思います。

4. 「寸暇」のための小道具

皆さんは、「寸暇」のための小道具を用意していますか？ えっ！ ゴルフ・バッグですか？ それも、たまにはいいでしょうが、余り公には言えませんね。私は、携帯電話を活用しています。以前は、ウインドーズCE版のポータブル・パソコンだったのですが、携帯電話の機能がよくなって、いつの間にか使わなくなりました。

例えば、ちょっとした「思いつき」ならば、携帯のメールを活用して、思いついた事を会社に飛ばすようにしています。たまには、写メールも送ったりしています。確かに、パソコンならば、しっかりした文章なども書けるのですが、いつの間にか使わなくなりました。よく、東京などへ出張の時には、若い方が、Webを通して、会社のサーバーとつないで一生懸命に格闘されているのをよく見受けられますが、ビジネス流儀の違いを感じます。

もう一つ便利な小道具をご紹介しますとA5タイプのノートです。私の愛用しているノートは、リング式で、見開きでA4になり、シッカリとコピーがとれるタイプです。ちょっとした時間がある場合、このA5ノートに向かって、図表を書いたり、イメージを描いたりしています。たまに、カバンを持たずに、手提げバッグだけで出かける時があるのですが、A5ノートがピッタリ入るので重宝しています。これは、お薦めします。

■まとめ

- ・「時間を流すな、時間を迎え撃て！」
- ・「スケジューリング」&「リスケ」
- ・「寸暇」は「様子伺い」の電話に使う
- ・「小道具」をいつも携行する